

データ活用講座 ~統計データを活用した課題探求~

岐阜県 環境生活部

統計課 企画分析係

統計 (Statistics) とは…







- ・観察
- 調査 ⇒
- ・実験
- データの 収集・整理

- ・加工
- ・計算
- ・グラフ化

なぜ、統計が必要とされるのか?

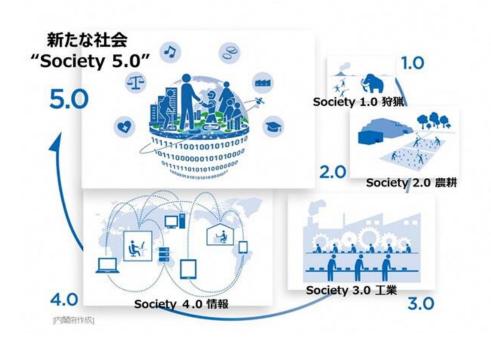
情報化社会の発展



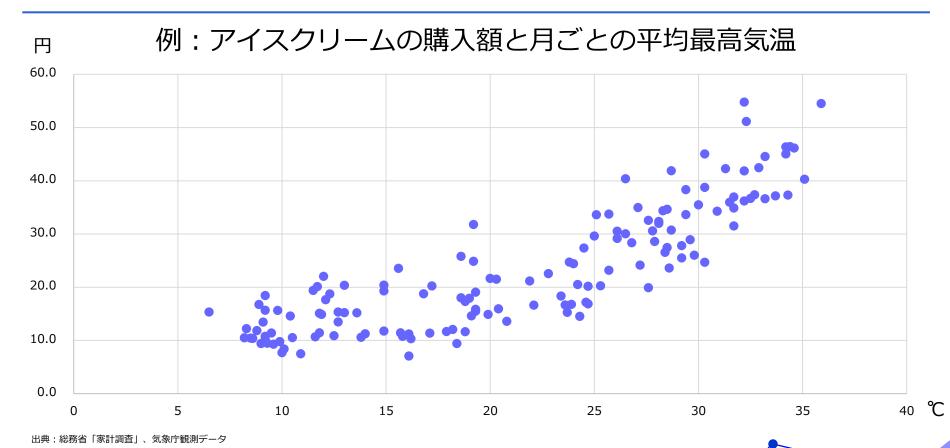
個人が多くの情報に 触れ・扱える社会への変化



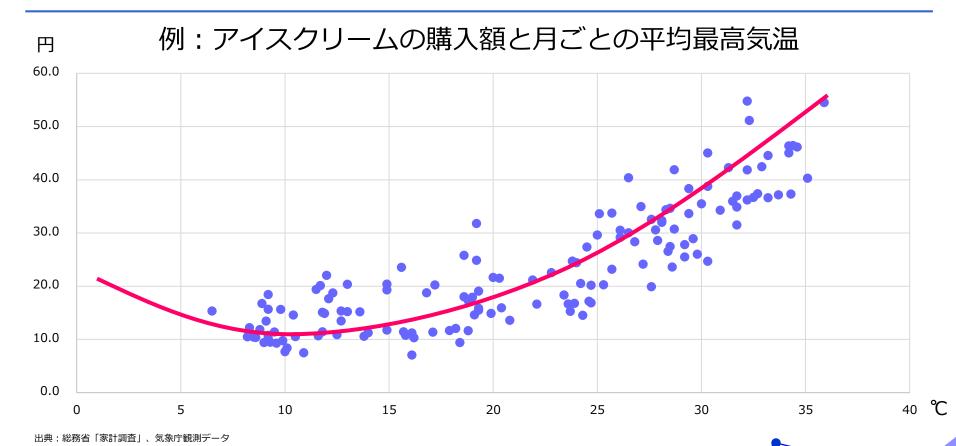
多くの情報から、印象や偏見に 惑わされず、客観的に物事を考 える力が必要



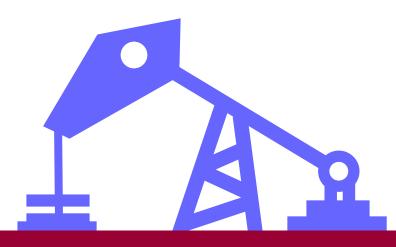
はじめに



はじめに



Data is the New Oil



 問題解決の手法

PPDACサイクル

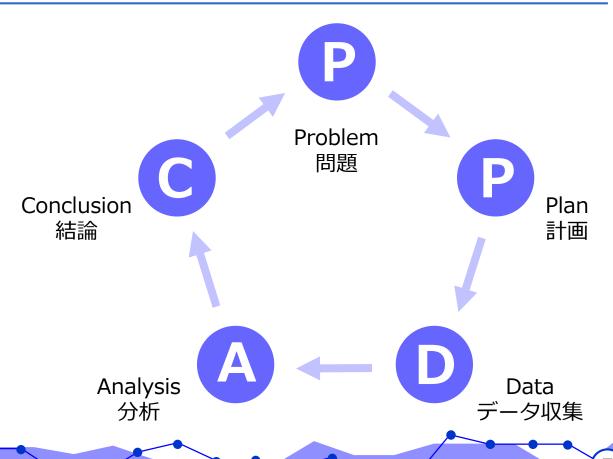
PPDCAサイクル

PPDACサイクルとは?

問題解決における各段階を

- · Problem (問題の発見)
- ・Plan (調査の計画)
- ・Data(データの収集)
- ・Analysis (データの分析)
- Conclusion (結論)

の5つに分割した考え方



PPDCAサイクル

PPDACサイクル実践例

~本当に暑い県はどこ?~

課題設定の方法

- ●自分の興味があること(例:スポーツで勝つには?、どんな食べ物が売れるのか?)
- ●日々の生活の中から(例:食品口スを減らすには?、スマホ依存を防ぐには?)
- ●社会的な問題(例:人口減少を止めるには?、地域経済を守るには?)

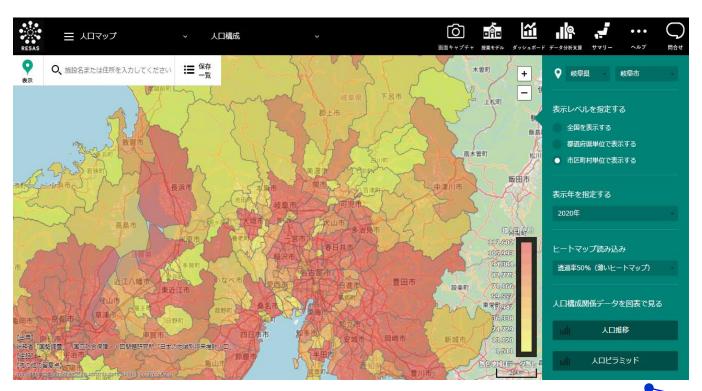
自分の日々の生活や興味の中から、改善したいことやもっと調べてみたいことなどを見つける。

ニュースやWebサイト、既存の統計データなどから情報収集することも有効。

RESAS 地域経済分析システム



RESAS 地域経済分析システム



RESAS 地域経済分析システム



e-Stat 政府統計の総合窓口



今回の題材 ~本当に暑い県はどこ? ~

出典:岐阜新聞Web

どのようなデータ・資料があれば課題が解決できそうか考える

- ・調査の目的から、どのようなデータが必要かを考える。
- ・データから、どのような分析ができそうかを考える。



データを得るために、どのような手法を取ればよいのか考える。 (Webサイト、図書館、アンケート…)

友人や先生など、他の人と相談し、外部の意見を取り入れることも重要。

調査活動を行う場合

1.調査の目的

「なぜ」「何のため」に調査を行うのかを明確に!

2.調査の方法

対象:誰に調査を行うか

手法:どのような手段で調査を行うか

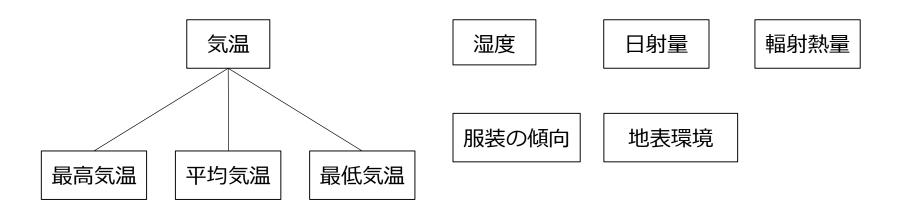
日時・場所:いつ・どこで調査を行うか

3.調査する内容

どういったデータを取りたいのか、どのような分析が可能になるのか、 結果をイメージしながら考える。

今回の題材 ~本当に暑い県はどこ? ~

暑さを決めるものは何か?



(17)

気象庁Webサイト オープンデータ



Data ~データを収集しよう~

データ収集のコツ

元データは、こちらの都合の いいように整理されていない (ことが多い)。



次のステップで分析しやすいように、必要なデータのみを抽出し、データを整理することが大切。



Data ~データを収集しよう~

2021年8月の気温データ

										-					
		岐阜県			東京			大阪			鹿児島			那覇	
	平均	最高	最低												
1日	29.2	35.2	25.2	28.7	33.7	24.2	29.8	35.4	26.2	29	33.6	26.3	28.7	31.7	27.1
2日	29.6	34.3	25.8	28.6	33.1	25.6	30.1	36.6	26.8	29.8	34	26.8	28.7	31.2	27.5
3日	27.9	31.7	25.7	29	32.9	25.7	28	31.5	25.5	30.2	34.9	27.4	28.7	31.6	26.8
4日	30.2	35.6	25.4	29.5	34.5	25.7	30.1	36.2	25.9	29.9	34.8	26.2	27.9	30.5	26.3
5日	30.8	36.3	26.8	29.1	34.7	24	31.3	38.9	27.1	30.6	35.5	27.6	26.9	28.2	26
6日	30.1	34.9	27.2	29.1	34.8	24.6	30.1	35.7	27.5	29.8	33.5	26.7	28.1	31.8	26.4
7日	30.6	35.5	26.8	27.9	31.4	26.3	30.7	36.6	27.1	28.7	33.8	26.3	28.5	30.3	27.3
8日	32.2	39	26.5	25.9	28.8	24.7	31.1	36.8	27.8	27.6	30.4	25.7	28.1	31.2	25.3
9日	28.6	31.3	24.9	28.1	31.3	25.6	28	31.2	25.7	28.3	33	24.6	28.2	31.1	26.5
10日	27.8	33.2	24.8	31	36.8	27.2	28.2	32.5	26	27.9	32	24.6	28.6	31.8	26.7
11日	28	32.5	23.3	29.2	33.5	25.9	27.8	33	24.4	25.9	26.9	24.8	28.4	30.8	27.2
12日	25.5	27.9	24.1	26	29.2	23.9	25	27.4	23.6	27.5	30	24.9	28.2	30.7	26.5
13日	24.5	26.2	23	22.5	25.4	20.5	25	26.5	23.2	27.1	28.4	25.4	28.3	31.3	26.3
14日	24.6	26.2	23.1	22.3	25.6	20.1	26.3	28.4	23.2	27.7	29.7	26.1	28.8	31.7	27.2
15日	25.5	31	22.5	19.3	20.2	18.4	25	29.4	21.6	26.8	27.9	25.5	29		26.8
16日	24	26.2	22.5	20.7	22.5	19	25.4	27.9	23.5	25	27.6	23.2	29.1	32.2	27
17日	23.7	26.8	22	23.7	27.4	20.7	24.2	25.3	23.3	25.5	27.4	23.9	28.9	32	27.4
18日	25.9	29.1	23.7	27	31.3	24.5	26.1	31	23.4	25	27.2	23	27.6	29.5	26.5
19日	24	25.3	23	28.5	33.8	25.1	23.4	24.9	21.5	25.9	29.2	22.9	27.7	30.4	26.5
20日	25.1	30.7	22.7	28.7	33.7	25.2	24.6	31.2	22.5	23.7	25.6	22.9	29.2	32.8	26.5
21日	25.7	28.2	22.6	27.9	32.1	24.8	26.1	30.2	22.5	26.3	30.6	23	28.6	31.9	26.5
22日	27.1	32.5	24.8	28.5	33.6	25.5	27.9	33.3	24.7	28	31.3	25.3	28.8	31.4	25.3
23日	27.5	32.6	23.6	26.9	30.3	22.2	28.3	32.2	26.3	28.5	31.1	26.2	29.2	32.2	26.6
24日	27.2	31.3	24.2	27.5	31	23.9	28.5	32.4	25.7	28.8	32.8	27.2	29.2	32.5	27.5
25日	28.7	33	25.7	29.4	34.4	26.3	29.5	34.1	27.5	29.6	34.3	27.1	29.1	32.6	26.5
26日	30	35.3	25.8	30.5	35.7	26.6	29.7	33.5	26.5	28.6	33	25.4	29.3	33.1	27
27日	30.1	35.4	25.7	30	34.3	26.9	30	34.1	26.7	28.8	34.1	25.7	29.1	32.5	27.2
28日	29.4	36.4	23.9	29.8	34.8	26.7	30	33.1	27.4	28.5	34.3	24.6	29.2	32.9	26.7
29日	30.4	35.9	25.4	28.5	32.8	26.5	30.2	33.8	27	28.3	34.7	24.2	29.5	33	27.2
30日	30.4	35.9	26.3	29.2	33.8	26.1	30.4	34.4	27.6	28.4	33.3	24.7	29.5	32.9	27.4
31日	28.5	32.1	25.4	26.9	32.4	21.2	29.5	34	26.8	28.8	33.2	25.2	29.2	32.9	26.9

分析の方法

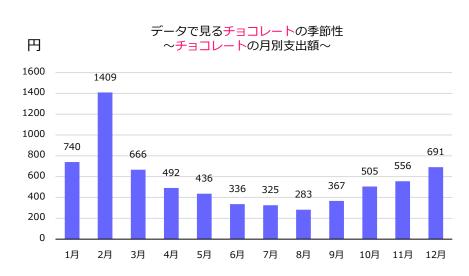
収集したデータから、基本統計量の算出やグラフの作成を行う。

統計量:平均値、中央値、最頻値、四分位数、標準偏差、分散、相関係数・・・

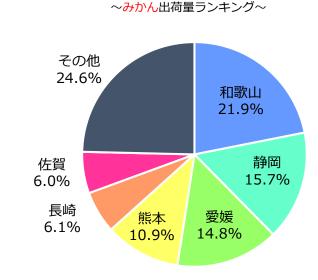
グラフ:棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、ヒストグラム、箱ひげ図、散布図・・・

どの手法が適しているか?

データに合うグラフや表を選ぶ



棒グラフ:量の大小を棒の高さで比較する



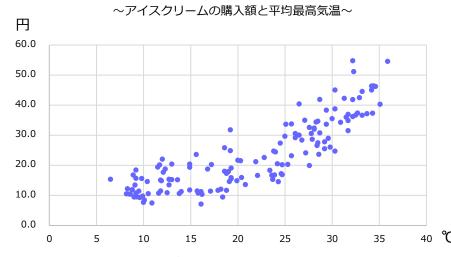
円グラフ:割合を円の広さで表す

出典:総務省「家計調査」、農林水産省「作況調査(果樹)」

データに合うグラフや表を選ぶ



折れ線グラフ:連続的な量の変化を表す



散布図:2つのデータの数量関係を分析する

出典:総務省「家計調査」、気象庁

分析の方法

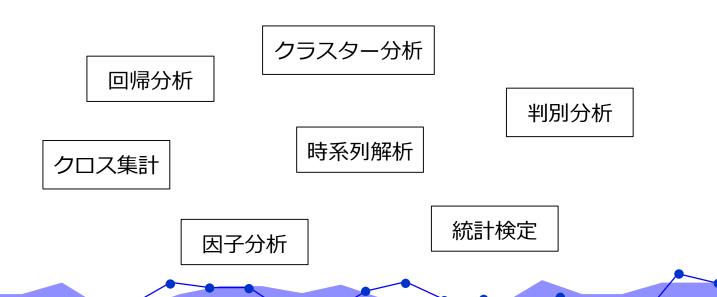
分析の視点

- ・全体の傾向、分布はどうなっているか。
- ・ある条件が変わると何が変わるか。
- ・グループに分けて比較。過去と比較。

データ分析には、どんなときでも使える最適な手法というものは存在しない。 データや目的によって、有効な手法は変わる。<mark>色々な角度からデータを見てみる</mark>ことが 大切。

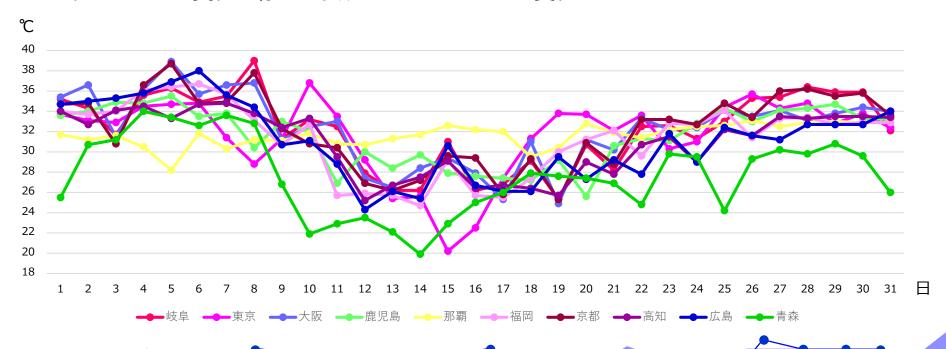
分析の方法

分析の手法を学び、手段を増やしていく。

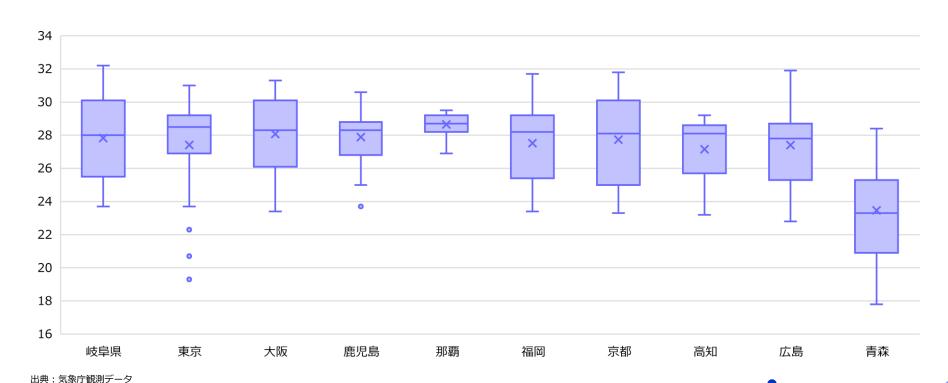


今回の題材 ~本当に暑い県はどこ? ~

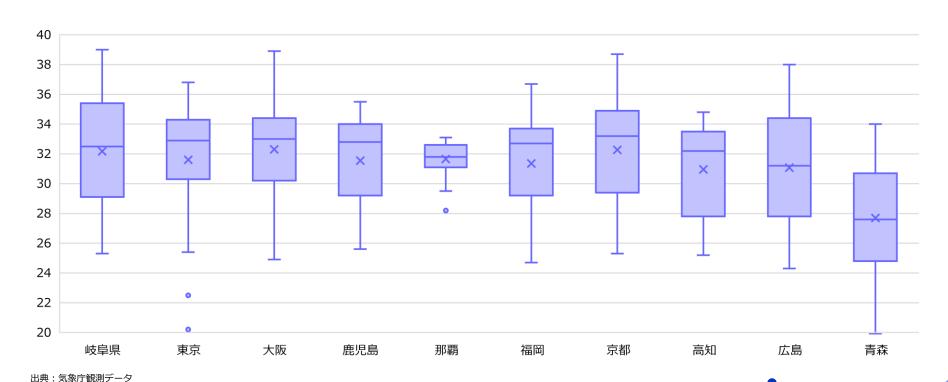
県ごとの気温変化の様子を表現したい → 気温変化と言えば折れ線グラフ?



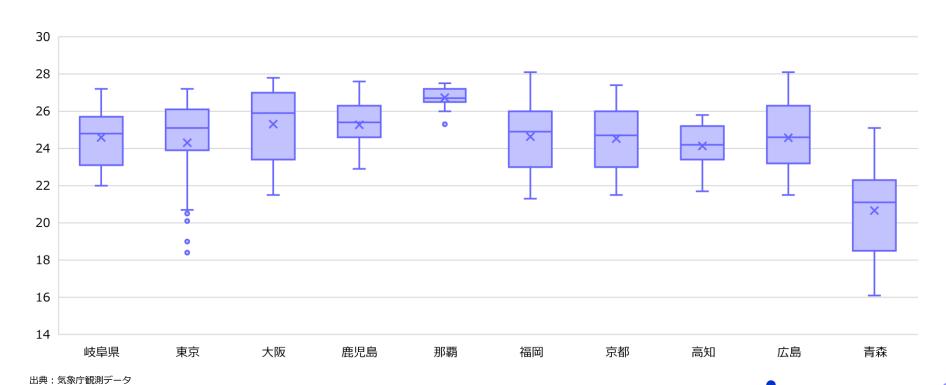
2021年8月の気温の平行箱ひげ図(平均気温)



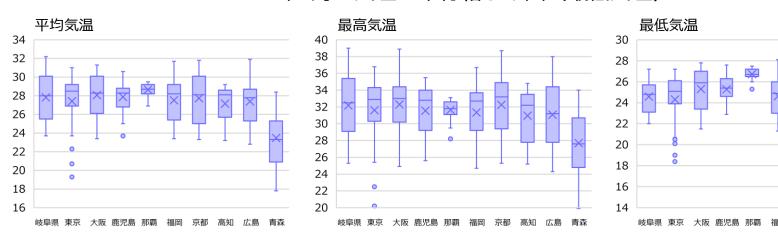
2021年8月の気温の平行箱ひげ図(最高気温)



2021年8月の気温の平行箱ひげ図(最低気温)



2021年8月の気温の平行箱ひげ図(最低気温)



岐阜:1位をとるくらい暑いことがあるが、四分位範囲も広い。

那覇:四分位範囲が狭く、気温が安定している。最低気温が高い。

Conclusion ~結論をまとめよう~

まとめる方法

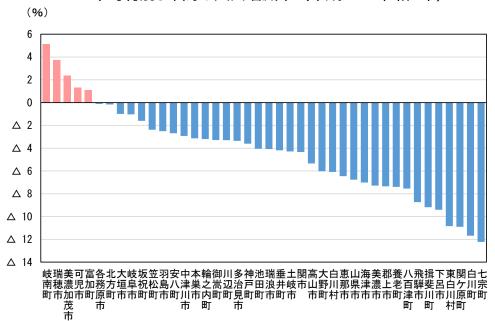
- ・Problemの確認
- ・どのように調査や分析を行ったかを示す。
- ・分析結果から読み取れることを整理し、課題に対する結論をはっきりさせる。
- ・分析結果に基づいた考察や提言をし、<mark>新たな課題を見いだす</mark>。 →新たなPPDACサイクルへ繋いでいく。

Conclusion 〜結論を

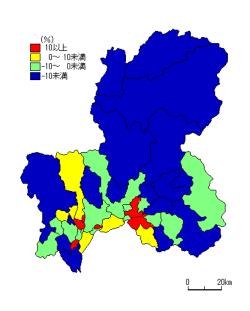
~結論をまとめよう~

言いたいことを伝えられる図表を選ぶ

市町村別5年間の人口増減率(平成27~令和2年)



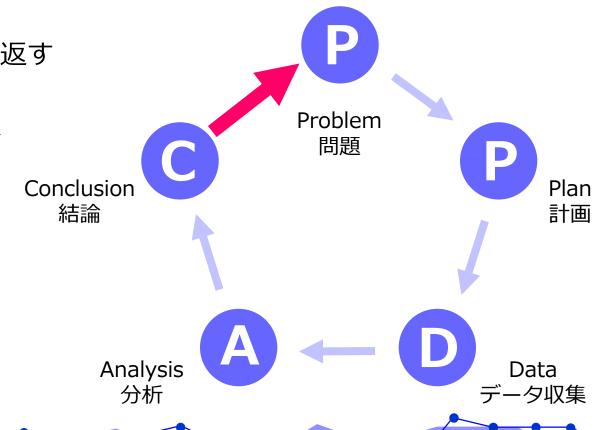
1990年~2020年の人口増減率



出典:総務省「国勢調査」

PPDACサイクルを繰り返す

- ・課題解決は1回の調査・分析だけで完結しない。
- ・分析結果から、他にどの ようなことを調べたらさら に分析が深まるか考え、次 のサイクルを回す
- ・仲間や先生の意見を取り 入れ、様々な視点を持つ。



Conclusion ~結論をまとめよう~

今回の題材 ~本当に暑い県はどこ? ~

調査の目的:ニュース等で、岐阜県は日本一暑い県として取り上げられることがある。一方で、東京のヒートアイランド現象が話題になっているし、緯度の低い沖縄などの気温が高いこと

も予想される。そこで、本当に岐阜県が暑い県なのかどうか調査した。

調査の方法:暑さの指標として、気象庁の8月の日別の気温データを利用した。今回は平均気温、最

高気温、最低気温に注目し、それぞれの数値を平行箱ひげ図にまとめ、比較した。

結果 : 岐阜県は平均気温や最高気温では高い数値を記録することもあるが、気温のブレの幅が

大きい。また、最低気温は高い方とは言えず、沖縄や鹿児島など南の県の方が高い。

課題 : 暑さの指標として、湿度や風速など、温度以外にも関連する要素が考えられるので、そ

れらのデータと温度を関連付けた分析を行いたい。

統計データ分析コンペティション



統計に参加しよう

統計グラフ全国コンクール

~日本のジェンダー問題を測る新しい指数を考える~

~子宮頸がんを予防しよう~



統計調査にご協力を!

統計データのほとんどは、国民のみなさんの統計調査への協力によって初めて分かることです。

みなさんも、統計調査への協力が求められた場合には、回答へのご 協力をお願いします。

* 多くの統計調査は、法律で国民の義務となっています。